

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名	「第九」アジア初演ブランド化推進事業		担当部署	市民環境部 文化交流推進課 「第九」ブランド化推進室	
総合計画体系			根拠法令 計画など		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがい感じる まちづくり	事業 期間	開始	平成 ▼ 26 年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なんと			終期
(小項目)		文化振興			
施策	4	暮らしの中で文化と創造が息づくまちづくりの推進			
基本事業	2	文化芸術活動の拠点施設等の充実			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市内外						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	1918年6月1日、板東俘虜収容所において、ドイツ兵捕虜がアジアで初めて「第九」交響曲を演奏した。またこれを記念し、昭和57年から市民による「第九」の演奏会が続けられている。こうした国内外に誇るべき背景を持つ「なんと第九」をブランド化することで、市内外へ周知・啓発を進め、交流人口の拡大を図る。						
事業計画	27年度に何を計画していたか	策定した基本計画・実施計画に基づいて2018年(平成30年)までをプロジェクト期間とし、事業の実施を図る。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位
		ドイツ館周辺への来訪者数	-	69,000	70,250	75,250	85,250	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	アジア初演「なんと第九」ブランド化プロジェクト実施計画を策定した。ドイツ館では、企画展示「ドイツと日本を結ぶもの」を開催し、それに伴い観光ガイド及び「バルトの庭」の期間限定開園を実施した。板東俘虜収容所跡地に案内看板を設置した。市内幼小中でアウトリーチ事業を実施し、「なんと第九」の歴史と合唱講習を行った。PR啓発のためのぼりを制作、また「なんと第九」に関するパンフレットをリニューアルし、関係各所やキャンペーンで配布した。市内観光事業におけるブース出店、まちづくり出前講座の活用、職員全体を対象にした研修等を実施した。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	指標名	26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位
	1 俘虜収容所跡地周辺施設改善箇所数(延べ)	-	4	32	40	50	箇所
	2 「なんと第九」講習を受けた市民の数	-	805	900	1000	1100	人
	3 PRイベント実施回数	-	16	18	18	18	回
	4 「第九」演奏会関連行事実施回数	-	5	6	6	10	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	ドイツ館周辺への来訪者数	-	69,174	-	-	-	人
	目標達成率(実績/目標)	100.3		-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況			計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	当初予算額	0	0	0	1,000	1,388	2,388
		全体予算額	4,000	0	0	1,000	2,305	7,305
		決算額	6,110	0	0	860	1,282	8,252
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)		総人件費		総事業費	
3.5		0.0		24,007		32,259		

【事務事業名：「第九」アジア初演ブランド化推進事業】
(千円)

事業費推移	年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	17,802	8,252	15,688	-	-
	うち一般財源	9,889	1,282	836	-	-
	人件費	13,756	24,007	26,807	-	-
	総事業費	31,558	32,259	42,495	-	-

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		目標を達成したため
	効率性	A:効率的だった		各事業の事業費に対する事務量等を勘案した
②成果に対する評価	指標名	ドイツ館周辺への来訪者数		十分な人数の来訪者があった
	目標	69,000	人	
	実績	69,174	人	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		項目①②のとおり

◎今後の方向性(ACTION)

課題	アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクト実施計画を基に、施策の具体的な実施内容及び事業経費を検討し、計画的にプロジェクトを産学官民連携のもと推進していく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクト実施計画に則した事業の実施			
	平成29年度	アジア初演「なると第九」ブランド化プロジェクト実施計画に則した事業の実施			